

1年探究科学科県内企業施設研修報告

- ◇期 日:令和5年7月26日(水)
- ◇場 所:榊田酒造店(富山市)・スギノマシン(滑川市)
- ◇参加者:1年探究科学科生徒81名、
- ◇引率者:15H担任杉山先生、16H担任山下卓先生

例年は探究科学科だけで行う県内企業施設研修だが、今年は普通科も含めた富山県教育委員会の「富山の企業魅力発見バスツアー」として実施された。この研修では県内企業の見学・実技体験を通して、県内企業の取り組みへの理解を深め、自分自身の進路について考えることが期待されている。今回は15H、16Hともに株式会社榊田酒造店と株式会社スギノマシンを訪問・研修した。

榊田酒造店では、社長の榊田隆一郎さんからお話を伺いながら、酒蔵を含めて岩瀬の街を巡った。榊田さんは進取の精神に富むアクティブな方で、ローカルから日本を変えていこうと岩瀬の街おこしに取り組んでいらっしゃる。その多彩な経験に裏打ちされた独自の視点から多くの言葉が語られた。榊田さんの熱量に圧倒されながらも、生徒は必死についていこうとし、質問を重ねて、今まで思ってもみなかった考え方やものの見方を数多く吸収してきた。世界のことに興味を持ち、視野を広げること、また物事を斜めに見るのではなく、まっすぐ素直に見ることの大切さを学んだ。何かを叶えようとするときには、それが叶うことを強く願うことだと、教えられた。



スギノマシンは、「真心創り もの創り 未来創り」を信念に、“BtoB”(Business to Business)という企業に対してサービスや製品を提供する企業で、富山県に本社を置いて国内だけでなく世界中にむけて多くの製品を作っている。スギノマシンの原点である水圧チューブクリーナーや、ウォータジェットカッターなど、オリジナルの多くの技術や企業戦略について学んだ。ウォータジェットを使った加工の様子を実際に見て、その繊細さに驚いた。スギノマシンには、常に前進するという信念、また製品を使う相手のニーズを考えて生産するという強い思いがあった。



うだるような暑い1日だったが、この2つの企業から学んだ熱い思いを胸に、将来を見据えて、まずはこの3年間を有意義に過ごしていきたいと思う。